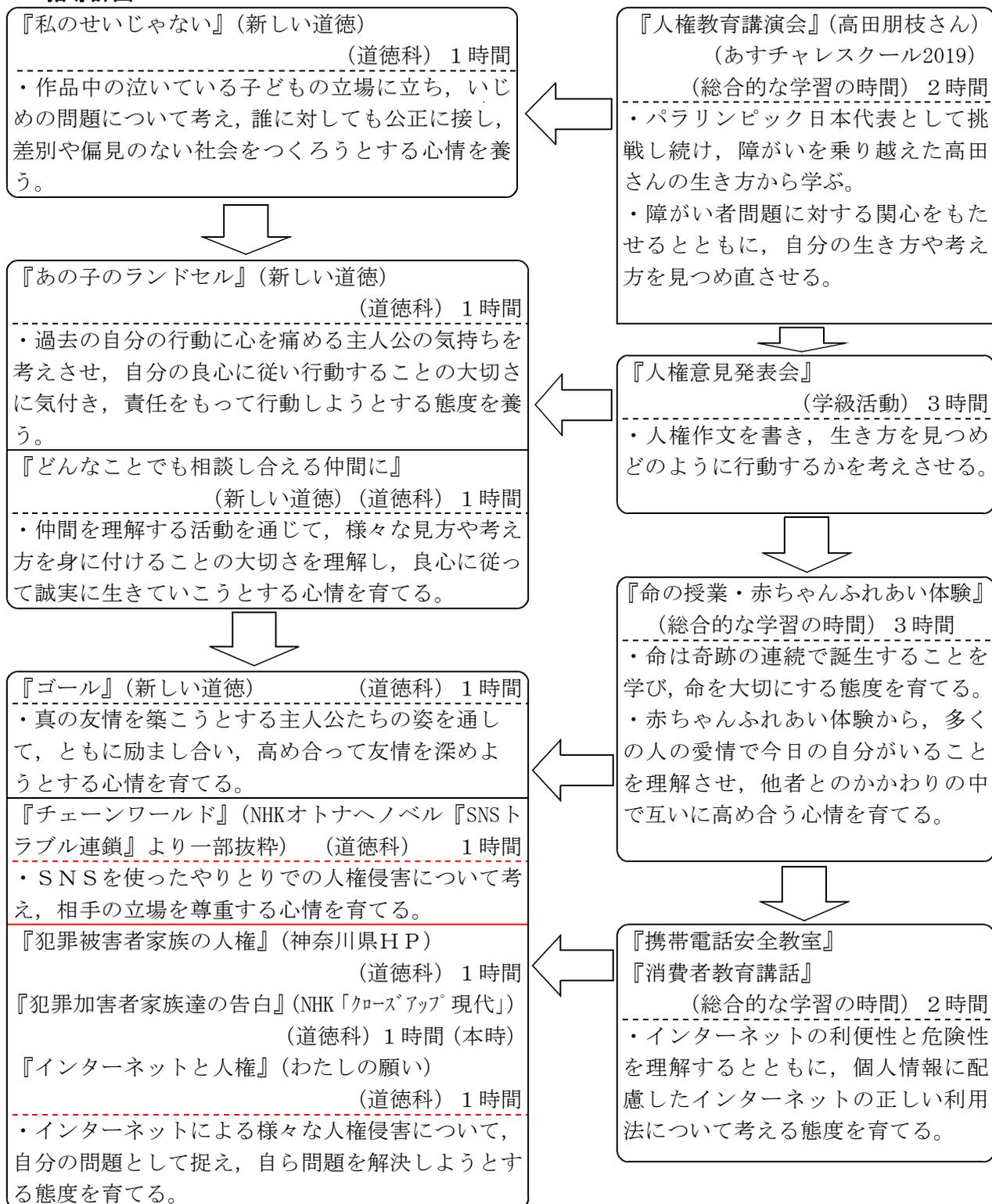


道徳科（人権）学習指導案

- 1 主題 よりよくつながる
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

インターネット上における様々な人権問題について学習することを通して、互いの人権を尊重した行動をしていこうとする意欲や態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

犯罪加害者家族の人権について考えることを通じ、インターネット上での人権侵害を自らのことと捉え、差別解消に向けて主体的に取り組む態度を育てる。

ねらいとする道徳的価値	C－(11) 公正，公平，社会正義
-------------	-------------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 人権の尊重
 個人人権課題名 インターネットによる人権侵害

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時までの犯罪被害者とその家族への人権侵害について振り返る。 2 犯罪加害者家族への人権侵害について資料の中の人物の立場で考える。	○犯罪被害者とその家族への人権侵害について考えたことを本時の展開につなげる。 ○得られる情報が事件の概要だけではなく、犯罪者の生育歴や家族についてなどに派生していることを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 犯罪加害者家族への人権侵害を解消するために、インターネットにどのように関わっていくべきだろうか。 </div>	
3 自己の生活を振り返りながら個別に考え、班で話し合い、その後全体で意見を共有する。	○ワークシートやホワイトボードを用いて活発な意見交換ができるようにする。 ② ○インターネット上での人権侵害は第三者による人権侵害が多いことや拡散性、即時性が強いことを気付かせる。 ①
4 この学習を通じて、これからどのように生きていくかを考える。	○ワークシートに意見を書かせて発表させる。② ○インターネットに限らず表面的な情報だけで事象の本質を決めようとするのが人権侵害につながる危険性があることに気付かせる。 ① ○この学習で学んだこと、考えたことを他の人権課題にも生かし、あらゆる差別解消に向け今後自分に何ができるか考えさせる。 ①

(4) 評価

- ・犯罪加害者家族への人権侵害を自分の問題としてとらえ、差別解消に向けてどのように生きていくかを考え、実践しようとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】 ①
- ・友達の見解を聞いて考えを深めたり、自分の意見を伝えたりすることができたか。 【技能的側面】 ②